

【家庭分野の目標】

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【評価の観点・方法】

<評価の観点>

「知識・技能」「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

<評価の方法>

①「知識・技能」

「知識」については、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、定期テストなどを評価します。

「技能」については、実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などにより多面的に評価します。

②「思考・判断・表現」

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で自分の考えを深め、工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。(レポートやワークシート、振り返りカード、発表など)

③「主体的に学習に取り組む態度」

積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

【家庭学習のしかた】

休日の食事作りやYシャツのボタンつけなど、授業で習ったことを生活の中で実践してみましょう。家庭での自分の役割を確認し、自立に向け、さらに自分でできることを増やしていきましょう。

時間	学習内容	学習のねらい
70 時 間	○ガイダンス 家族・家庭と子どもの成長 ○わたしたちと家族・ 家庭と地域 ・自分の成長と家族 ・家庭のはたらき ・家庭生活を支える仕事 ・わたしたちの家庭生活と地域	・小学校の学習を振り返り、3年間の学習の見直しをもたせる。 ・家庭のはたらき、家族の役割について考え、自分のあり方を考えることができる。
	衣生活・住生活の自立 ○自分らしく着る・快適に着る ・日常着の活用 ・日常着の手入れ ・基礎縫い練習 ・環境に配慮した衣生活	・目的に応じた着方、個性を生かす着方の工夫ができる。 ・生活に合わせた無駄のない快適な衣生活を工夫できる。 ・日常着の手入れや補修方法について学び、生活で実践することができる。 ・自分らしさを表現しながら、環境に配慮し、資源を大切に生活の実践について考える。
	○生活を豊かにする物をつくる ・布を用いたものの製作	・布を用いた物作りを通して生活を豊かにする工夫を考えることができる。 ・材料や用具を正しく使い、製作できる。
	食生活と自立 ○健康と食生活 ・食事について考える ・生活のリズムと食事 ・栄養素のはたらきと食品 ・中学生に必要な栄養 ・食品群の分類 ・食事の計画	・食事が果たす役割や健康と食事とのかかわりについて考え、自分の食生活を工夫できる。 ・栄養素について正しい知識を身につける。